

クレヨン保育園 ごあんない

お問合せ先

クレヨン保育園に関するご相談
キャリア継続に関するご相談

ワークライフバランス支援センター

電話：073-441-0876 ① worklife@wakayama-med.ac.jp

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1

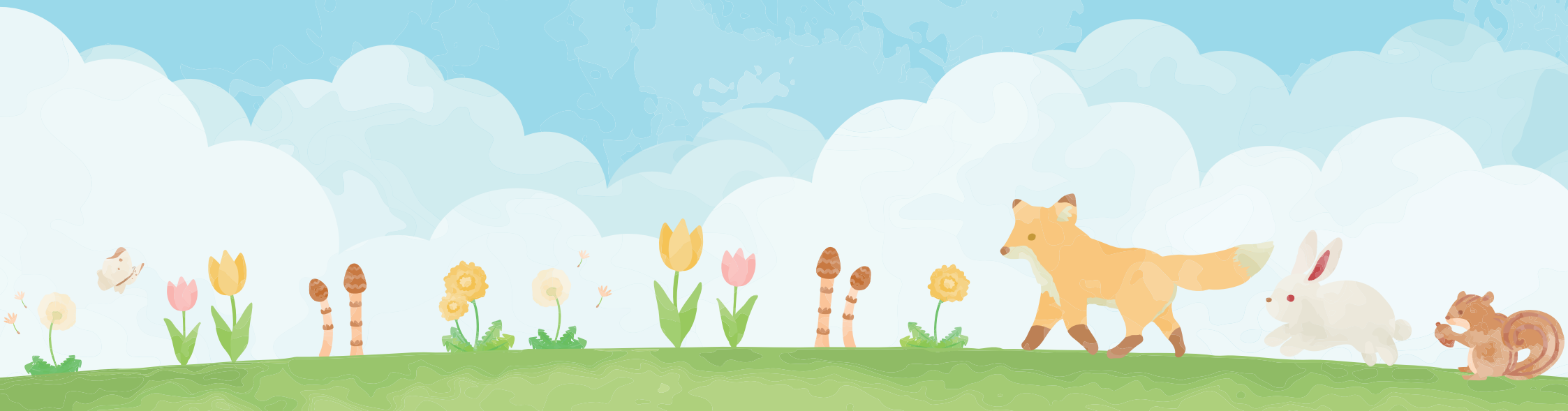
見学申込み

和歌山県立医科大学附属病院託児施設

クレヨン保育園

電話：073-447-2367

〒641-0012 和歌山市紀三井寺768-9



目次

園長あいさつ	1
保育について	2
保育方針	
定員	
対象児童	
保育内容	
クラス編成	
年中行事(予定)	3
給食	4
おやつ	
利用者負担額	
健康診断	
入園受付	5
保育時間	
休園日	6
保育料	
勤務表・喫食予定表	7
退園	
病児保育	
園での投薬	
入園までの流れ	8
入園児童以外が利用できるサービスについて	9



ごあいさつ

2000年4月に当初園児12名でスタートいたしました。

その後、年々入園される園児が増加し、

定員人数も2018年度には80名から100名に増えました。

クレヨン色が1本1本違うように、

子ども達も一人ひとり個性を生かし伸ばしていく保育を！

という願いを込めて『クレヨン保育園』と名付けられました。

クレヨン保育園では「明るく 元気に たくましく」というモットーを念頭におき、子ども一人ひとりの気持ちを大切に、温かく見守る中で心身ともにすこやかな育成を図り、豊かな人間形成の基礎を培うことを方針としております。また、保護者の方に安心してお勤めに専念して頂けるように心がけております。

これからも、ご意見やご要望に耳を傾け、保護者の方も、子ども達もともに利用しやすい施設にしていくことを目指します。入園を希望される方は、クレヨン保育園の見学にお越しください。お待ちしております。

和歌山県立医科大学附属病院託児施設

クレヨン保育園 園長

保育について

保育方針

さまざまな経験を通して、心身ともにすこやかな育成を図り、豊かな人間形成の基礎を培うことを方針としています

定員 100名

児童福祉施設設備運営基準第33条第2項に規定する数に準じて、安全な保育が提供できるよう、園児数に合わせた保育者の配置をしております。

対象児童

- 本学附属病院に勤務する助産師、看護師、教員（医師）、学内助教（医師）、研修医、医療技術職員その他の職員の子ども
- 対象年齢 0歳（生後60日目）から小学校就学まで

保育内容

子ども・子育て支援法やその他関係法令等を遵守し、保育所保育指針に準じ、事業の特性に留意することで、利用子どもの心身の状況等に応じた保育を提供します。子どもが保育園で安定した生活を送るために必要な事項を、子どもの発達側面から援助します。

*園児数の都合により、違う年齢のお子さんと保育する場合があります。また、保育士資格を持つ職員が保育にあたりますが、食事介助など保育支援員が補助する場合があります。

クラス編成（2023年度の編成です）

きいろ組	あか組	もも組	みどり組	あお組①	あお組②
0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	3歳児 4歳児	5歳児



年中行事（予定）

※行事予定は、年度毎にお渡ししています。

4月	入園式・親子遠足
5月	こどもの日・個人懇談会（3歳～5歳児）・保育参加
6月	虫歯予防デー・時の記念日・運動会（1歳児以上） 人形劇観覧（5歳児） びわ狩り（さつきこども園にて5歳児のみ参加）
7月	七夕・プール開き・夕涼み会（5歳児）
8月	プール参観（4～5歳児）・夏祭り
9月	敬老会（おじいちゃん、おばあちゃんの参観日）・お月見
10月	親子遠足・ハロウィンパーティ・視力検査 お芋掘り（さつきこども園にて5歳児のみ参加）
11月	文化の日・七五三・勤労感謝の日・お遊戯会（1歳児以上）
12月	クリスマス会・保育参加 大根掘り（さつきこども園にて5歳児のみ参加）
1月	お正月
2月	節分・個人懇談会（3～5歳児）・制作展・大掃除（保護者参加）
3月	ひな祭り・お別れ会・卒園式（5歳児）

※お誕生会、避難訓練は毎月1回行います。

※感染症などの状況によっては、行事が中止となる場合もあります。

給食

- ・離乳食から統一された献立の完全給食です。園内の施設で調理しています。
- ・果物が毎日ついています。
- ・土曜日保育の昼食は、お弁当の提供となります。日曜・祝日の保育は、家庭からお弁当持参となりますが、園で昼食（お弁当など）の注文を受付けることもできます。（実費負担）
- ・献立予定表は毎月お配りします。
- ・食物アレルギーへの対応は、園にご相談ください。



おやつ

- ・おやつは9：30（0～2歳児のみ）と15：00です。15：00のおやつは、週に1回手作りおやつを実施しています。

●利用者負担額

食事をしていない0歳児	無料
離乳食開始後～5歳児	1食につき380円（主食費+副食費）
※上限金額を5,000円（離乳食は3,500円）とし、上限を超えない場合は実食分の負担となります	

※園で夕食（お弁当など）の注文を受付けることができます。申し込みは当日朝の登園時～16時までです。（実費負担）

健康診断

内科健診（年2回）、歯科健診（年2回）、視力検査（年1回、年少・年中、年長のみ）、尿検査（年2回）があります。身体測定は月1回実施します。



働き方の多様性に合わせた保育時間を設定しています

入園受付

毎年秋ごろに次年度の園児募集を行っています。施設の利用開始は、利用者の採用や職場復帰に合わせたタイミングとなりますが、次年度（翌年の4月から翌々年の3月）にクレヨン保育園の入園を希望される場合は、この時期にお申込みが必要となります。また、入園前に慣らし保育期間が必要です。詳細は、大学ホームページをご確認ください。

【大学HP→図書館・関連施設→ワークライフバランス支援センター】
受付に必要な書類については、【入園申込に必要な書類】の項をご確認ください。

保育時間

保育区分	保育時間	
通常保育	月曜日から金曜日	7時15分～18時15分
延長保育	月曜日から金曜日	18時15分～20時00分
長日勤保育	利用者から申込のあった日	7時15分～21時30分
夜間保育	保育園の指定日（10～12回/月）	19時30分～7時15分
休日保育	土曜・日曜・祝日	7時15分～20時00分

※夜間保育の実施予定日は、前々月の末日までに保育園が決定し、利用者にお知らせします。実施日以外の利用はできません。

- 延長保育、長日勤保育、夜間保育、休日保育は各保育時間帯に勤務がある場合のみ利用可能です。

ただし、0歳児の夜間保育は卒乳後となります。

- 保育園は、利用者の勤務時間中に利用していただくものですが、週休日でも原則として、下記時間帯に限り利用することができます。

平日のみ：9時00分～16時00分

- 夜間帯の勤務（看護師の場合：準夜・深夜勤務、医師の場合：当直勤務）に保育園を利用する場合は、翌日の**最長16時00分まで**

（翌日も勤務の場合は18時15分まで）利用することができます。

※ただし、勤務明けが土曜、日曜、祝日になる場合は、**最長11時00分まで**となります。

休園日	月 2 回	毎月の園だより、喫食予定表でご案内します
	年末年始	12月31日～1月3日
	その他	年のうち2日程度

保育料

保育料は、前年の課税額（住民税基準）および園児の年齢（4月1日時点）により決定します。毎年9月に保育料の見直しを行います。（夜間保育や病児保育の利用料、その他雑費等は別途徴収します）

利用者負担額表（月額）

市町村民税＋県民税額（世帯分）	3歳児未満	3歳児以上
0円～55,000円未満	18,000円	企業主導型保育事業の助成および大学運営経費により無償となります ただし、消耗品費等は別途必要です
55,000円以上～60,000円未満	21,000円	
60,000円以上～73,000円未満	24,900円	
73,000円以上～90,000円未満	30,000円	
90,000円以上～120,000円未満	35,600円	
120,000円以上～200,000円未満	40,900円	
200,000円以上～350,000円未満	44,500円	
350,000円以上～650,000円未満	54,900円	
650,000円以上～850,000円未満	64,000円	
850,000円以上	74,000円	

●夜間保育料は以下の通りです

夜間保育	1人1回につき600円
------	-------------

夜間保育時の朝食は、児童1人の利用につき、1回100円です。

行政による保育料助成について（紀州っ子いっぱいサポート）

和歌山県内の一部の市町村（和歌山市、海南市ほか）では、保育料助成が受けられます。

対象：和歌山県内に住民登録している、2人以上の子どもを育てている世帯で、就学前の第2子以降の児童。

ただし、第2子については、所得制限（年収360万円未満相当）があります。

詳細は、和歌山県ホームページ「紀州っ子いっぱいサポート事業」をご確認ください。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040200/d00202861.html>

勤務表・喫食予定表

毎月20日までに保育園に提出してください。

退園

利用者が次のいずれかに該当するときは、速やかに退園していただくこととなりますので、ご了承ください。

- 本学を退職することにより、利用資格を喪失したとき
- お預かりしているお子さまのために育児休業を取得したとき
- 産育休を長期間取得されているとき（和歌山市に準拠し、子が1歳になった年度の末日まで利用可能とします）
- 長期休暇を取得することに伴い、保育園に入園している園児がおおむね1カ月以上休園するとき

子どもが病気になったときは…

病児保育

病児保育室を計4室設けております。一時保育、慣らし保育中は利用できません。

医師により、病児保育室利用許可がある園児が対象です。

病児保育室での看護は、専任の看護師が対応します。

- 利用時間：8時00分～18時00分（土曜・日曜・祝日は休み）
- 利用者負担額：1回2,000円

<利用の流れ>

手順1	病児保育室の予約	園に電話もしくは直接お申し出ください
手順2	かかりつけ医もしくは救急外来を受診し、病児保育の利用が可能との判断をいただく。診察医連絡票への記載を依頼する	救急外来を受診する場合は、8時00分～8時30分の間に受付してください 診察医連絡票の書式は2種類あります （かかりつけ用・当院救急外来用）
手順3	保護者が病児保育利用申請書を記入し、病児保育室へ	食欲がなければ、食べられそうなものや、好みの飲み物、必要であれば処方薬などを持参してください（与薬依頼書が別途必要） 出入は園庭側の扉からとなります

園での投薬

薬を服用している場合は医師の処方薬に限り投薬できます

（※市販薬は投薬できません）

必ず、1回分を小分けして持参してください。



入園をご希望の場合の手続きについて

復帰する時期を考え始めたら…

復帰後の子どもの託児先は少しずつ考え始めておくと、いざ復帰を決めた際にスムーズに手続きを進めることが可能です。保育園等の応募期間の確認や、保育園や託児所の見学を早めにしておくこともオススメです。

クレヨン保育園入園までの流れ

10～11月頃	保育園園児募集開始 ⇒入園の申込み ※募集期間は毎年変わります。HPをご確認下さい	<提出先> ワークライフバランス支援センター *募集期間外の申込みについては、 お受けできない可能性があります
12月	入園決定 入園決定通知書が届く	入園は託児施設運営委員会で審査のうえ決定します
入園の2～3か月 前まで	面接（クレヨン保育園）	自身でクレヨン保育園に連絡し、 日程を決めます 入園に際して必要なこと、入園後の 園生活について説明します
入園の1か月前	慣らし保育 特別な事情がない限り、入 園前に短い時間の保育を行います	スケジュールは面談時に保育園と 相談のうえ決定します

入 園

保育に関するお問い合わせ、見学希望はこちら

【連絡先】

和歌山県立医科大学附属病院託児施設（クレヨン保育園）

〒641-0012 和歌山市紀三井寺 768-9

電話：073-447-2367

入園申込みに関するお問い合わせはこちら

【連絡先】

和歌山県立医科大学ワークライフバランス支援センター

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1

電話：073-441-0876（直通）

入園児童以外が利用できるサービス

一時保育

対 象： 本学附属病院に勤務する職員が養育する就学前の児童。ただし、受け入れに余裕がある場合にのみ実施します。

利用条件： 勤務、学会、研修などがある場合に利用できます。私的な用事での利用はできません。

実施時間： 開園日の7時15分～19時30分

<利用料金>

年 齢	1時間当たりの料金	給食代（1食あたり）
0歳児	600円	380円
1～2歳児	500円	
3～5歳児	400円	

事前登録： あらかじめ登録が必要です。登録後、初回利用日までにクレヨン保育園担当者が、保護者・児童と面談を行います。

学童保育

対 象： 本学附属病院に勤務する職員が養育する小学校1年生から6年生までの児童で、和歌山市および近隣市町に在住の方。

定 員： 3名

<実施日および利用時間、利用料金>

	実施日	実施時間	利用料金
夜間保育	夜間保育実施日 (月10～12日)	19時30分～翌日7時15分 (翌日が土日祝日の場合は 11時00分まで)	3,000円/回
一時預かり保育	休園日を除く 月～日曜日	18時30分～21時00分	400円/時間
休日保育	休園日を除く 土曜、日曜、祝日	7時15分～19時30分	400円/時間

食 事： 夕食…持参または保育園でお弁当を注文（有料）

朝食…持参または保育園で準備（有料100円）

送 迎： 保育園での送迎は行いません。保護者や親族による送迎、送迎タクシーの利用、ファミリーサポートセンターの利用等保護者において児童にあった送迎を手配してください。

事前登録： あらかじめ登録が必要です。登録後、初回利用日までにクレヨン保育園担当者が、児童と面談を行います。